



第1回「日本ダウン症会議」での分科会発表者①

これからもいろんな事にチャレンジしていきたい!

足立 香奈美 (27歳・大阪府)

「アドボケート」(advocate)とは、障害関連では、権利擁護のための活動を支持する人、擁護する人、代弁する人の意味です。この企画では、「セルフ・アドボケート」=ダウン症のある人たちに、自ら、自分の言葉で、現在の生活についてや思いなどを伝えていただきます。全国からの発信をお待ちしています。

皆さん、こんにちは。私は毎日「おれんじはうす」に通っています。

私の仕事はシート洗いや、クルミ切りや、クッキーの袋づめなどをしています。

いつかクッキーを焼く作業ができるようになりたいです。

家ではアイパッドやケイタイで遊んだり、絵をかいたりしています。お母さんのお手伝いも時々します。

木曜日はピアノの先生の所に通っています。今は「365日の紙ヒコーキ」を練習しています。

金曜日はラブジャンクスのダンスレッスンに通っています。かっこいいふり付けをおぼえて踊るのが、すごく楽しいです。

日曜日にお友達とバンドの練習をしています。

中学生の時から9人の仲間で「えんぜるバン

ド」を組んで活動しています。老人ホームや公民館など、色々なイベントで演奏します。私のたんとうはリコーダーとピアノです。

私はダウン症です。お金の計算やできない事がいっぱいあります。でも、できる事もいっぱいあります。これからもいろんな事にチャレンジしていきたいです。



<プロフィール>

1990年、大阪府生まれ。両親と兄と弟の5人家族。クッキー工房「おれんじはうす」通所。毎日元気に作業所に通い、余暇は友達とバンド活動をしたり、ラブジャンクスでダンスを習って色々なイベントに出たり、楽しく過ごしている。ハンバーグとお寿司が大好き。「嵐」と「AKB48」の大ファン。

※ これまで会報に掲載してきたこのコーナーの記事をJDSのホームページですべてご覧いただけます。

トップの上のほう「ダウン症のあるお子さんを授かったご家族へ」⇒「主張するセルフ・アドボケートたち」

成人期のページ

わたしたちは、いま!

原稿募集! どんな暮らしを送られていますか?

普通の日常や調子を崩した経験、今現在困っていること等も差し支えなければ伝えてください。投稿をお待ちしています!